



病室モデルルームの検証・検討結果について

病室モデルルーム確認・検証・検討において、患者さんの視点に立って、車イスからベッドへの移乗やベッドからスイッチやコンセントに触れたり、収納や洗面器の利用のしやすさなどを確認しました。また、職員の視点からは、医療用コンセントや医療ガスに医療機器を接続し、処置のしやすさなどを確認しました。これらの確認・検証・検討の結果、主な変更点は以下のとおりとなりました。

① 4床室、個室

- ・患者さんが利用するコンセントやスイッチ類を利用しやすい位置に調整。
- ・患者さんの処置に必要なコンセントやスイッチ類、医療ガスについて、使い勝手の良い位置に調整。
- ・コンセント類や医療ガスの配管が入る壁を腰までの高さとし、洗面所の壁と車イス置き場を縮小することで、患者さんのベッド廻りのスペースを拡充。（4床室）
- ・患者さんの利用しやすさを考慮し、洗面器とシャワーユニットの形状を変更し、ベッド廻りのスペースを拡充。（個室）

② 個室トイレ

- ・個室トイレの面積を検証・調整し、ベッド廻りのスペースを拡充。
- ・患者さんが利用する手すり、紙巻器、スイッチ類を利用しやすい位置に調整。
- ・患者さんの感染対策を考慮し、暖房便座のみに変更。



病室モデルルーム（変更後）



11/8～10病室モデルルーム変更確認の様子

